

「この命令を受けた看守は、二人を奥の牢に入れ、足に足かせを掛けた。真夜中ごろ、パウロとシラスが神に祈りつつ賛美の歌を歌っていると、ほかの囚人たちも聞き入っていた。」使徒 16:24、25 上の箇所は主の名のゆえに捕えられたパウロとシラスが牢獄の中で賛美をしている時に、大地震が起こります。囚人の鎖がはずれて囚人が逃げってしまったものと思って看守が自殺しようとした時に、それを止めたパウロに向かって看守が「救われる為には、何をしなければなりませんか？」と問います。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」と答えた有名な箇所です。

マーリン・キャロザーズさんの信仰の遺産「感謝と賛美」の教えは ①聞き従い ②賛美の二つです。神の言葉に聞き従うことは最も大切なことです。私達が失敗したり困難にあたり何故このような事が起こったのかと戸惑う時に“感謝と賛美”をするとそこに“神の光が射して”きます。これは体験すればするほど積みあがってより深い神の愛を体験できます。

日本に日本独自の賛美があまりありません。その中で私達の教会に預言の言葉が与えられました。「賛美隊を立てる」それが何を意味しているのか良く分かりませんでしたが、確かに神から来た預言なので従い、角笛やキーボード、ギターなどを抱えてシナイ山に登りました。山頂で賛美を始めるとみんな泣いていました。素晴らしい主のご臨在が表され霊の注ぎかけが成されたのです。私もその時同行しました。「賛美」の働きはリバイバルの道を開くだけでなく、リバイバルそのものの働きに用いられ主の働きを起こしています。明らかに新しいことが起こっています。路上でライブし、老人ホーム、施設など賛美の中で解放を受けたり、自殺者が自殺をやめたこともあり、明らかに素晴らしいみわざが起こっています。

先日“パラダイス”の賛美グループで認知症のクリニックに行った時、そこで働いている人が二人、その利用者の人達の日常の動きを知っているので、コンサートの時、静かに聴いていたこと、共に喜んで歌っていた事に驚いていました。声を出している人は「素晴らしい！」というエールだったそうです。またその後行った知的障害者の施設でも神の栄光が現れました。以前は賑やかに暴れまわっていた子供たちが整然と座って聞いて、共に歌っていたのです！！確かに私達の賛美が用いられ、これからもっともっと「賛美」が用いられ、賛美隊によって癒しと救い、解放、奇跡が更に現れてくるでしょう。リバイバルに大きな役割を果たす「賛美」の働きです。そしてこのリバイバルの働きはもっともっと広がってゆきます。主の手がおかれていますからです。



Siloam

2017年4月9日 No.940

(シロアム：遣わされた者 ヨハネ9：7)

新年度の御言葉 「それと同じように、信仰も、

もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」ヤコブ2：17



God is working for my good , for my good, for my good,

God is working for my good, Yes ,You really are!!

主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>